

本を選ぶ

高校図書館版

NO.54 2012年(平成24年)11月10日
<http://www.las2005.com>

●発行/ライブラリー・アド・サービス
〒335-0004 埼玉県蕨市中央 5-20-1 TEL=048-432-3726

ろん・ぼわん

大人になる

『大人になる本』(パット・パルマー原作、径書房)を知ったのは、勤めていた高校の「図書だより」からである。その「図書だより」には“先生のお薦め本”欄があり、尊敬する女性教諭が「いくつになっても、いつ読んでも私自身、気づかされることがたくさんある本です」と、この本を薦めていた。読んでみると、なるほど。自分も相手も大切にすること、人間関係を紡ぐことの大切さを生徒に響かせておられる先生らしいお薦め本であった。

「大人になるとは夢をなくすこと」ではない。「ありのままの自分を受け入れたい、好きになりたい」、そのためにはどうすればいいか。自己決定の大切さと方法を示し、自分の力で「現実の自分」と「理想の自分」とのギャップを埋める方法を示してくれている。

早速、当時、担当していた『カウンセリング入門』という選択科目でこの本を取り入れ、車座になって輪読した。読後、感じたこと、気づいたことをみんなで語り合い、共有した。「ここに書かれているのは私のことだと思った」、「自分に向けてのメッセージだと思った」、…。今どきの高校生も、繋がるツールさえあれば、やわらかに開く。

授業の後、一人のおとなしい男子生徒が「先生、

この本ボクの本やわ。本、読んで感動したんはじめてやわー」と声をかけてくれた。まっすぐな目が言外のことを伝えていた。この本が品切れであることを告げると、とても残念がり、とりあえず、そのまま図書室から借りて帰った。

卒業して半年後、彼が家庭の事情で進学先を中退せざるを得なくなったと聞いた時、あの時のまっすぐな目が思い出された。そして、心ざわついた私は簡単なメッセージとともに手元にあった古いこの本を彼に送った。その後、随分経って、几帳面な文字の手紙を私は受け取った。

「……この本を紹介されたとき、本当に涙が出るくらい感動しました。17歳の子どもの頭でも、いろんなことを改めて考え直す良いきっかけになりました。今回、また読み返してみると、当時と違う印象を受けました。今の自分を恥ずかしく思いました。この本は本当に大切にさせていただきます……」。

自己が確立してくる時期の高校生との関わりは面白い。彼らはパワーと輝きに満ちていると同時に息苦しさやあがきにも満ちていて、揺れ幅が大きい。その揺れの大きさにこそ彼らの柔軟さと成長力が潜んでいるように思う。可逆性に富んだ彼らのその時々にはフィットする本を提供できたら、それは生きる力を提供することに等しいと思う。

母親の心の相談を受ける公的機関で臨床心理士として働く今、たった一冊の本で心通わせることができた学校という場の強みが懐かしい。

(星野 聖明：臨床心理士)

学校図書館からの発信

—2012 年、学校図書館で働く司書が執筆した本が相次いで
刊行され、評判をよんでいます—

学校図書館と直接関係のない人にも

『みんなでつくろう学校図書館』（成田康子 著
岩波ジュニア選書 岩波書店 2012.1）

著者の成田康子さんは、「札幌月寒高校、大麻高校を経て、2010 年より札幌南高校在職、学校司書としての仕事に 29 年間携わっているベテランです。

本書の構成を紹介します。

まず章立ては、①学校図書館を居心地よい場所に、②図書館を自分たちの居場所にする、③図書館を舞台に何かが起きる、④学校図書館をみんなでつくろう 以上四つの章です。

各章には、一つずつ図書館ミニ知識が紹介されています。①知っていますか？ 「図書館の自由」に関する宣言、②知っていますか？ 高文連の活動、③知っていますか？ ランガナタン 図書館学の五法則、④知っていますか？ 学校図書館法

図書館のことをよく知らない読者にも、知っている読者にも納得の四つの選択で、「知っていますか？」の問いかけが効いています。

そして 34 の実践例が、めくるめくように展開します。「ふかふかの椅子、居心地のいい窓辺 本を読まなくてもいいんだ」「部活動とコラボレーション」「Nさんがみんなを連れてきた?!」「学校図書館は生きている」etc. …。

言われてみればその通り、でも私は思いつかなかったな、思いついても実践までには進まなかったという事例が次々に登場します。著者の発想は、素朴で力強く、普遍的なので、他の分野でも応用できそうです。

生徒の何気ない言葉や行動から新たな活動を具体的にイメージすると、風をおこし、生徒や教員だけでなく学校も図書館も巻き込んで休みなく走り続けた著者の 29 年間で早速読んで観てきたような読後感です。

著者は自分を駆り立てているものについて、こ

う語っています。

—学校司書として、生徒の話にできる限り耳を傾け、その時々的高校生が図書館に何を求めているかをいつも知ろうとしてきました。図書館をもっと使ってもらいたい。図書館を自分たちのものにしてもらいたいと願ってきました。この願いは図書局員や図書委員たちの気持ちと同じだということが、一緒に活動することを通してわかってきました。「どんな図書館にしたい？」とたずねると「たくさんの人にきてほしい」と答えます。そのためには「図書館の魅力をもっと知ってもらいたい」と言います。生徒の思いと司書の願いは共通です。—

「学校に司書がいたら」「みんながきたくなる図書館を」というのが、この本最後の二つの項目です。

ここで、自分は学校司書の仕事をしているが、実習助手という職名の教育職であることを述べて、自分が魅力的な図書館を目指して、存分に働くことができたのは、「学校司書の配置が法律で決められていないなか、…、所属する学校の管理職をはじめとする教職員の理解と見識により、学校司書の仕事ができる環境が整えられた」ことに由っていると述べ、最後は「今まで出会った生徒のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです」と締めくくっています。

読書のプロを目指す人のために

『鍛えよう 読むチカラ 学校図書館で育てる 25の方法』（桑田てるみ 監修 「読むチカラ」プロジェクト 編著 明治書院 2012.8,10）

本書は、読書について実践的に学びたいという学校関係者が多いので、ベテランプロが惜しみなく、プロの技をつぎ込んで制作しました。現役の学校司書の実践例から学べる一冊としては、規模・内容共に、類書を越えています。読書のプロを目指す人に必ず役に立つ一冊ですという制作側の矜持が伝わってきます。

この本の編著者である「読むチカラ」プロジェクトリーダーは8人、執筆協力者5人、いずれも、現役の学校図書館司書さんで、学校図書館と読書のプロです。監修は大学の准教授で司書教諭。執筆協力者の一人が司書教諭です。

本書は、小・中学校・高等学校全ての児童・生徒を対象にしています。「読むチカラ」プロジェクトリーダーの役割分担が、小学校3名、中学校2名、中学・高校3名というのは、青年期の成長の在り様を考えると肯けます。

本書のメインは、第2章「学校図書館員が提供する本読み方法10」、第3章「子どもが活動する本読み方法15」です。この二つの章では、「学校図書館で、読むチカラを育てる25の方法」として、1 読み聞かせ、2 紙芝居、3 おはなし、4 ブックトーク、5 展示、6 掲示、7 お知らせ、8 ブックリスト、9 パスファインダー、10 教科と連動した活動、11 読書感想文、12 読書感想画、13 読書へのアニメーション、14 読み聞かせと創作活動、15 読書発表会、16 リテラチャー・サークル、17 読書会、18 NIE とディスカッション、19 POP 作成、20 本の帯作成、21 読書新聞作成、22 読書ポスター作成、23 伝記でリーフレット作成、24 読書ノート、25 指読み 以上 25 の方法で、40 例(高校分8例)が、以下のプロセスで進行します。そのプロセスは、①着想、②企画、③決定、④工夫、⑤実行、⑥反応です。

六つの手順と25の方法を組み合わせれば、たいのことは一人で乗り切って、一定レベルを維持した実践をものにすることができる筈です。

といっても、強い味方に会ったことを無邪気に喜んではられません。第5章「本読みプロの必読図書100冊」まで読み進めば、海上の冰山は水面下でその数倍大きな氷塊であるのように、「読むチカラを鍛えるメソッド」の活用は水面下の読書量と読書の質で支えてこそだということが見えてきます。

これからはブックトークです

『学校司書と先生のための すぐできるブックトーク～小・中学校・高等学校のわかりやすいシ

ナリオ集～』(渡辺暢恵/小柳聡子/和田幸子/齋藤洋子 著 ミネルヴァ書房 2012.3.31)

2000年の子ども読書年に続いて、2001年には子どもの読書活動の推進に関する法律が、2005年には文字・活字文化振興法が定められました。この10年間を振り返ると小・中学校・高等学校での読書量は増えています(2011 読書世論調査)。“次の課題は、読書のさらなる質の向上”、これが本書の柱です。

ブックトークは、何を読むかという課題に効果のある方法で、学校図書館の活動として紹介されてから40年近く経過して、多くの優れた実践が紹介されてきましたが、まだ最初の一步を踏み出していない学校司書と教諭に向けて、32件(高校分8)をシナリオ(始りの挨拶から、締めめの終わりますまで)つきで紹介しています。

第4章高校での8件は、ロングホームルームが2件、道徳、国語現代文、国語、保健 家庭科、美術、平和教育が各1件です。

第5章は、教諭が授業やホームルームで、10分程度の間、テーマに合わせて3～4冊の本を紹介した実践から成っています。ブックトークの敷居は高くないと教諭を励ましている熱意が伝わってきます。この点が前述の2冊と違ってきます。

本書の著者一同代表は、次のように述べています。市町村に非正規の職員として採用され、学校司書として配置されている人も、「一度、ブックトークを成功させると、専門職として校内で認知され、先生方と児童・生徒から頼られる存在となり、校内の読書活動の推進に大きく貢献できるようになります。…本の整理や掲示物の環境整備をするだけでは、その任を十分果たしたとはいえません。学校司書ご自身にとっても最も楽しい取り組みであるブックトークの機会を逃していたらもったいないことだと思います。どのようにブックトークの時間を作るかは本書を参考にしてください」と。

学校図書館は、働いている人の職業上の身分を抜きにしては語れないことを今更のように痛感しました。身分はどうあれ、本の大切さや魅力を子どもに伝えたいという熱意に甘えて長い歳月を過ごしてしまったものです。(LAS 探検隊)

高校生もターゲットにした公共図書館の取り組み

—東京都港区立高輪図書館分室は、小・中・高校生のための図書館 として、2011 年 12 月に開館しました—

.....

港区立高輪図書館分室は、小・中・高校生のための図書館として、港区立高輪子ども中高生プラザ（通称 TAP）の三階にあります。

「子ども図書館」の館数は、近年少しずつ増えていますが、高校生を視野に入れている公共図書館は、まだ珍しいと思います。

日曜日の昼さがり、数人の大人が棚の前で本を選び、学習中の数人の学生が静かに席についていました。書棚はどれも、まだ本を挿す余裕がありました。ラウンジコーナーの棚の前に立つと、コーナーからはみえないスペースに、学習机が並んでいました。机を囲む壁際には、国語辞典や漢字辞典、英語の辞書など辞書・事典類の資料も並び、4 席の学習机が左右左右と互い違いに向き合い、机はそれぞれ三方を乳白色の衝立で囲まれています。

歩くうちに数席ずつまとまった学習コーナーが二つ三つ現れて、ちょっと迷路風の配置です。学習スペースはそれぞれ特色があって、通常の学習席のほか、持ち込みの PC を使えるコーナーは 6 席。8 人用と 10 人用のグループ学習のコーナーには、PC が利用できる席がそれぞれ一つずつあります。ラウンジコーナーには学習席 18、CD 視聴席 3、PC 利用席 2 と、使い勝手は良さそうです。

一週間単位でみると、一番利用の多いのは水曜日と土曜日で、その日は下校が早いからではないかということでした。

昨年この図書館の開館前に、中・高生に集まってもらって、蔵書への希望など直接聞く会を開き、できることは応えて来ましたので、その努力はこれから生きてくるとしています。

蔵書はざっと 30000 冊。高校生用早川ミステリーから、小学生の絵本までの品揃えですが、まだまだ棚に余裕があります。70 の国の大使館がある土地柄、洋書にも力を入れています。現在は、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スウェーデン語・オランダ語の絵本があります。

今後も充実させて行こうと思っています。

YA 向け日本作品の英訳本の購入も進めています。

開館して一年経った今秋には、もう一度中・高生に集まってもらい、この図書館への感想や要望を直接聞く会を予定しています。

学校図書館支援センターとして

従来学校図書館への支援は、それぞれの図書館が担ってきましたが、今後、調べ学習については、分室が拠点となり、各館のバックアップを行います。今年夏休み前に地区説明会を終えたばかりなので、本格的に利用が始まるのは、これからです。

小学校への支援では、過去のデータなどを参考に、3000 冊の資料を新たに揃えました。

中学校については、教科の先生方に中央館に来ていただき、調べ学習関連の見計らいを企画してきました。今後も考えていきたいと思っています。

高等学校については、取り組みが始まったところで、まずは学校からの要望をお待ちしています。

未就学の子どもへ

一階は子育て広場。ゼロ歳から 6 歳までの子どもとその保護者のためのフロアです。靴を脱いであがると、幼児が走りまわりお父さんが歩き始めた赤ちゃんとも楽しそうに遊んでいました。書架には赤ちゃんから学齢までの子どものための絵本（図書館の蔵書）が 2700 冊ほど並び、自動貸し出し機も設置されています。衛生管理の厳しいこの広場では、自動貸し出し機の隣に本の滅菌機も設置されています。

高輪図書館分室と本館は同じ最寄駅同じ出口からそれぞれ、徒歩 1・2 分の位置にありますが、本館の子ども室は今後も縮小せずに、従来通りの運営を予定しています。

二階はスポーツコーナー。一部三階まで吹き抜けになっていますので、三階の図書室通路から、十数人の高校生がバスケットを楽しんでいる様子が見えました。四階は、音楽スタジオとちょっとしたコンサート会場も備えられて、高校生に人気です。

18 歳までの子どもを対象とした総合施設の一部としての公共図書館は大きな可能性に満ちて、これからが楽しみです。(2012.10/LAS 探検隊)

慌ただしくなった？ 学校図書館をめぐる動き！

文部科学省では、平成 24 年度から、5 か年計画で、学校図書館のための地方財政措置を充実させました。

一つは、学校図書館の学校司書（専ら学校図書館に関する業務を担当する職員で、教員やボランティア以外の者）の配置に関して、平成 24 年度から初めて「学校司書」を配置するための経費として単年度約 150 億円の地方財政措置が行われます。

一つは、学校図書館図書整備 5 か年計画で、①学校図書館図書標準の達成を目指して単年度約 200 億円、総額約 1000 億円、②各学校で新聞を活用した学習を行うための環境を整備するため図書整備とは別に、単年度約 15 億円、総額約 75 億円。

ただし今回の地方財政措置は、どれも、用途を特定しない一般財源として措置されるために各市町村等において予算化されることが必要です。（文部科学省 リーフレット「学校図書館 つかいやすくなったね！」）

法的な位置づけのない学校司書の配置に、使途

を特定しない地方財政措置の効果は、どの位望めるのでしょうか。

一方では学校司書の法制化について新たな動きが報道されました。7 月 6 日付けの読売新聞によると、5 日に開かれた学校図書館活性化協議会の役員会で、「明確な法的位置づけのない学校司書の法制化を急務とし、学校図書館法改正を早期に進める方針を確認した」とあります。この協議会を構成する 3 団体は、子どもの未来を考える議員連盟・公益財団法人 文字・活字文化推進機構・学校図書館整備推進会議です。その後、国会での動きなどは伝わって来ないようですが、法制化されれば問題が全て解決するというわけではなさそうです。

例えば平成 15 年の学校図書館法が改正されて、12 学級以上の学校にならず置かれなければならない司書教諭についても、育成・発令（学級数の問題）・定数上の位置付けがない・学校図書館を経営・運営する仕事に専念できる時間の確保が保障されていないなど、未解決・未達成の点が多々あります。

イキイキと元気に、知的に情緒的に逞しい次の世代の子どもを育てるのに学校図書館の整備・充実がかかせません。学校図書館をめぐる動きから目が離せませんね。（編集部）

DM きたるゝ

累計180万部突破のロングセラー・シリーズ
「よりみちバン!セ」話題の新作!!



●こども東北学

山内明美・著 四六判並製156頁 1260円(税込)
3.11以降の日本の行く末とは? 朝日、毎日はじめ、各メディアで絶賛!!

●きみがモテれば、社会は変わる。 宮台教授の(内
宮台真司・著 四六判並製142頁 1260円(税込)
気持ちのよい社会をつくる唯一の道を、中高生に向けて直接講義!

最新刊

生きるための犯罪

上岡陽江+ダルク女性ハウス・著 四六判並製192頁 1365円(税込)
薬物依存の予防・回復に必要なのは、適切な治療と安心できる場所、そして「先生」。当事者たちの切実な言葉が伝える、教育関係者必読の1冊。西原理恵子氏推薦。

イースト・プレス 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4-7 久月神田ビル
TEL.03-5213-4700(代) FAX.03-5213-4701(代)

本が読まれなくなった時代だから、
★ なおこの本を出したいとおもったのです ★
(本書「おわりに」より)

安野光雅 エッセイ わが友の 旅立ちの日に

安野光雅 文・絵

◇四六判 ◇フルカラー ◇248 頁 定価 1680 円(税込)

山川出版社 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-13-13 TEL 03-3293-8131
FAX 03-3292-2994

世界地名大事典

③中東・アフリカ

特価29925円

12 総合図書目録あります。ご請求下さい。

宗教の事典

山折哲雄監修

定価26250円

アニメーションの事典

横田正夫ほか2名編

定価14700円

古代の科学と技術

図説人類の歴史別巻

定価15750円

太陽系探検ガイド

渡部潤一監訳

定価4725円

朝倉書店

 東京都新宿区新小川町6-29
 〒162-8707 ☎03-3260-7631

世界の国と人を知るための知的ガイド

エリア・スタディーズ

◎地理・歴史・政治・経済・社会・文化など幅広い分野

◎各章どこからでも読める読み切りスタイル

◎図版・写真を豊富に使い、ビジュアル面でも工夫をこらす

 刊行している主な国々 【アジア】中国・韓国・インド／パキスタン・タイ 【中東】サウジアラビア
 トルコ／エジプト／イスラエル 【欧州】ドイツ／フランス／ベルギー／フィンランド／デンマーク
 【アフリカ】ガーナ／タンザニア／南アフリカ 【北米】アメリカ／カナダ 【中南米】グアテマラ／
 ブラジル 【オセアニア】オーストラリア／ニュージーランド など、100以上の国と地域を刊行

高校教師かわはら先生の

原発出前授業



- ① 大事なお話 よくわかる原発と放射能
- ② 本当のお話 隠されている原発の真実
- ③ これからの話 核のゴミとエネルギーの未来

明石書店

 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
 電話 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174

新版 都道府県別 日本の地理データマップ

全8巻


 全国10,000の
 学校・公共図書館で
 採用された定番シリーズ。
 5年ぶりの全面改訂!!

11月22日発売予定!

●ISBN978-4-338-27700-6 揃定価 28,980 円

小峰書店

 〒162-0066 東京都新宿区市谷台町4-15
 TEL 03-3357-3521 FAX 03-3357-1027

日本語源広辞典

増補版

増井金典著 異なり語数4万余を収載。7875円

 一般社団法人 全国保健師教育機関協議会監修 ●資格
 のとり方・しことのすべて 1575円

 ボランティアまるごとガイド [改訂版]
 安藤雄太監修 ●参加のしかた・活動のすべて 多様
 な市民活動の面白さを実践例等で紹介。1575円

 看護師まるごとガイド [改訂版]
 田中美恵子監修 ●資格のとり方・しことのすべて
 職場事情、キャリアアップ情報等満載。1575円

 まるごとガイドシリーズ 最新刊 *A5判美装
 しごとの実際を現場取材とルポで紹介
 やりたいことを探す人にオススメのガイド

ミネルヴァ書房

 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
 TEL075-581-0296 ※価格税込

レファレンスから選書まで幅広くご利用いただけます

スポーツ・健康科学書総目録

最新版 2013 A5判 / 192頁 / 頒価300円 (本体286円)

- ◆ 100社の2000点を紹介。巻末に掲載出版社名簿。
- ◆ 総記・健康科学・スポーツの3部門に大別。中分類19項目 (辞典、資料・報告、健康科学一般、健康、保健、福祉、体育、スポーツ一般・オリンピック、陸上競技、水泳・マリンスポーツ、体操、球技、格闘技、アウトドア、登山・山岳、ダンス、冬季スポーツ、その他のスポーツ、レクリエーション・ゲーム)。さらに細分類して適書選択の便を図っています。各書目 ISBNコード付。今年度版より読者対象を表示。
- ◆ 市販のスポーツ・健康科学関係雑誌一覧を掲載。
- ◆ 叢書、講座類の一括購入に便利なシリーズ索引付。
- ◆ 書店様にてお取り寄せできます。

スポーツ・保健体育書目録刊行会

〒162-8710 新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内 TEL03-3266-9521

国書刊行会 創業40周年記念出版

文学のすべてがこの6冊の中に!

新編 バベルの図書館

J・L・ボルヘス 編纂/序文 全6巻

20世紀文学の巨匠ボルヘスが、166作品を単独で編集。世界5カ国で出版されている国際的文学全集の新編新装版。種村季弘、矢川澄子、由良君美、中野美代子ら、最高の訳者陣の翻訳で収録!


 第1巻 アメリカ編
 (ポー、メルヴィル他) 6090円

 第2巻 イギリス編 I
 (ワイルド、サキ他) 6825円

カラー内容見本

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
 TEL 03-5970-7421 FAX 03-5970-7427 【税込価】